

個別保健事業の評価(事業4)

事業名	糖尿病重症化予防事業					
年 度	令和5年度・令和6年度					
目的・概要	糖尿病の重症化のリスクのある被保険者に対し、生活習慣改善の指導等を行うことで、病期の維持を目指し、被保険者の健康保持・増進を目指すとともに、多摩市国民健康保険の医療費の適正化を目指す					
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の検査結果等より糖尿病の重症化のリスクが高い対象者を抽出し、参加希望者に対し専門職が生活習慣改善の支援を行う。 ・南多摩薬剤師会への委託にて実施。 参加薬局薬剤師により生活習慣、運動、薬効等についての生活指導や必要に応じて管理栄養士による食事指導などを実施。 ・対象者：前年度特定健康診査受診者のうち、HbA1c6.5%以上かつ、多摩市医師会加入医療機関受診中の者（主治医からの診療情報提供書に基づき保健指導を行うため） ・糖尿病の重症化リスクがあり、医療機関または薬局からの受講推薦がある者（特定健康診査の受診履歴は問わない） <p>なお、保健指導の対象外になった者で将来的にリスクが高まる者については、パンフレットでの情報提供や保険年金課の保健師による支援を行う。</p>					
評 価	評価指標	策定時 (令和4)	経年変化			
			年 度	令和5	令和6	令和7
	参加者の終了率 (%)	51.7	目標値	65	70	
			実測値	76.7	91.7	—
	保健指導修了者のうち 人工透析移行者 (人)	0	年 度	令和5	令和6	令和7
			目標値	0	0	0
実測値	0	0	—			
評価の まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 令和4年度は、コロナ禍の影響により参加者の来所控えなどから、相談が期間内（開始から当該年度末の約8か月間）に終了しない例が多く終了率が低くなってしまった。令和5年5月に新型コロナが5類感染症に位置づけられたことにより終了率の上昇につながった。 ・令和6年度 参加者の終了率は昨年度より上昇し、中断者は2名のみとなっている。 発送者（390名）数に対して実施者（24名）と、1割弱の実施率であった。 参加者の修了率は目標値を上回っており、評価としては前進していると考えられる。 					
令和7年度 以降の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を増やすため（目標：40名）、抽出条件を昨年度と変え、発送対象者を増やし（390名→600名）、参加者増を目指す。 					